

平成22年度第3回兵庫県入札監視委員会 議事概要

開催日及び場所	平成22年11月24日(水) 兵庫県庁 1号館9階会議室		
委員	根岸 哲 (甲南大学法科大学院教授) 木村 治子 (弁護士) 北野 参則 (公認会計士) 小西 庸夫 (元兵庫県代表監査委員)  欠席委員：西村委員		
対象期間	平成22年7月1日 ~ 平成22年9月30日		
事務局報告 平成22年度第2回委員会の議事概要			
議案1 入札及び契約手続の運用状況等の報告			
対象工事 件数	682 件	対象期間中の指名停止件数	5 件
対象工事の契約金額合計	25,908,678 千円	対象期間中の資格制限件数	1 件
対象工事の平均落札率	86.0 %	対象期間中に契約締結した契約予定金額250万円超の工事	
議案2 抽出した工事に係る入札及び契約手続等の審議			
抽出案件	総数	5 件	
うち	一般競争入札	- 件	
	公募型一般競争入札	2 件	
	制限付き一般競争入札	1 件	
	指名競争入札	1 件	
	随意契約	1 件	
議案3 談合情報があった案件に関する審査			
委員からの質問・意見 それに対する回答等	質問・意見	回 答	
	別紙のとおり	別紙のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし		

別 紙

	質 問 ・ 意 見	回 答
1	<p>事務局報告 平成 22 年度第 2 回委員会の議事概要について (質問・意見なし)</p>	
2	<p>入札及び契約手続の運用状況等の報告 H22.7.1～9.30の入札・契約状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合評価落札方式を実施した入札について、その成果を長期的に確認していくため、県民局ごとに実施件数の累計がわかるようにしてほしい。</li> <li>また、落札率については県民局ごとだけでなく、事務所ごとの状況を報告してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 報告方法を検討する。</li> </ul>
3	<p>抽出した工事に係る入札及び契約手続き等の審議</p> <p>(1) 公募型一般競争入札：県土整備部（設備課）発注 「本会議場音響システム改修工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 原則では指名競争入札とする工事を公募型一般競争入札とした理由は何か。</li> <li>・ 予定価格はどのように算出したのか。</li> <li>・ 工期が7月28日から3月25日で非常に長い。難しい工事なのか。</li> <li>・ メンテナンスも工事と一括で契約するといいいと思うが、どうしているのか。</li> </ul> <p>(2) 公募型一般競争入札：阪神南県民局(西宮土木事務所)発注 「武庫川下流流域下水道 南武ポンプ場他降雨情報システム改築工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応札者が1者しかない。当初設置工事もこの応札者が受注したのか。</li> <li>・ 予定価格はどのように算出したのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施工能力（施工実績）のある業者は少ないが、その全てを把握できないため、公募型一般競争入札とし広く参加者を募ることにより、県で施工能力を把握できていない者にも入札参加を促して、より一層の競争性の確保に配慮した。</li> <li>・ 複数の見積書を徴し、それを基に積算している。</li> <li>・ 更新する機器は完全オーダー品のため機器製作に長期間を要すること、また、県議会の開催中は工事ができないことを考慮した結果3月までの工期となった。</li> <li>・ メンテナンスは、管財課で別に契約している。</li> <li>・ 応札者は、当初設置工事を受注した三菱電機株である。 武庫川下流流域下水道の各システムは、三菱電機株が製作したものであり、他社が参入しづらかったと推測される。</li> <li>・ 当初設置工事を行った三菱電機株等5者から見積書を徴し、それを基に積算している。</li> </ul>

<p>(3)</p> <p>(4)</p> <p>(5)</p> <p>4</p>	<p>制限付き一般競争入札：阪神北県民局(宝塚土木事務所)発注 「(砂) 笹尾谷川 溪流保全工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予定価格超過が応札8者中7者と多い。また、落札率も98.9%と高い。推測される理由は何か。</li> <li>・ 入札辞退者が12者と多い理由は何か。</li> </ul> <p>随意契約：阪神北県民局(宝塚土木事務所)発注 「(国)477号 道路災害応急対応工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害発生後、業者選定・発注はどのように行ったのか。</li> </ul> <p>指名競争入札：企画県民部(災害対策局防災情報室)発注 「衛星県庁局更新工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 選定理由で「関連会社が指名されていない者」とあるが、本工事以外の工事の入札に指名されていると除外するという事か。</li> </ul> <p>談合情報があった案件に関する審議 制限付き一般競争入札：但馬県民局(豊岡土木事務所)発注 「(一) 円山川水系 菅川 田淵川樋門 下部工事」 「(砂) 舟木川 砂防ダム建設工事(第4期)」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 談合情報の信憑性はどのように判断しているのか。すべてについて調査しているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 非常に単純な工事で積算が容易であり、現場が不便なところがあったため、各業者が予定価格に近い金額で応札した結果高落札率となったと推測される。</li> <li>・ 施工箇所は猪名川町の北西の最奥部で不便なため辞退した者が多くなったのではないかと推測される。</li> <li>・ 7月14日被災後、緊急に通行止めの措置が必要となったため、川西市域の緊急小規模工事単価契約業者の中から業者を選定し、緊急対応を指示した。その後、道路法面が崩壊し引き続き長期の通行止め措置が必要となったため、緊急対応を行った業者と7月15日に通行止め措置・土嚢設置等の応急対応作業について随意契約を締結した。</li> <li>・ 指名競争入札では、同じ入札で、同一資本の業者を指名しないようにしている。</li> <li>・ 談合(連合)情報取扱要領に定めている基準により判断している。</li> </ul>
<p>その他：政府調達に関する苦情処理、建設工事に係る再苦情処理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回は、無かった旨、事務局より報告。</li> </ul>		